



9月 土居隣保館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 敬老の日	21	22	23 秋分の日	24	25
26	27 職業相談 10:00~	28	29	30	10/1	2

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スローエアロビック・3B体操を休止しています。

隣保館では、人権相談や職業相談を行っています

悩んでいることはありませんか？

隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場や学校に行けない」など何でも相談してください。また、毎月25日（原則）は、ハローワークの巡回相談（職業相談）を行っています。

土居隣保館便り

9月号

発行：土居隣保館 〒799-0703 土居町藤原 5-400-3 TEL/FAX 28-6356

館長の気づき

男子バスケットボール部員から教えられたこと

2018年度第3回人権啓発土曜講座で、「スポーツと人権」という演題で、濱田定幸さん（当時松山商業高校陸上競技部顧問）の講演がありました。講師の濱田先生のような実績も人望も無いなか、ただひたすら部活動の指導に明け暮れていただけの当時が思い出されました。今は、同和教育に関わらせていただくなかで、顧問としての指導の未熟さ、人間としての至らなさに気づかされ、猛省することだらけです。そんな私ですが、顧問を続けるなかで学んだことと重なる部分がいくつかありました。その一つが「掃除」についてです。そのことを会場で発言できず、帰ってから活字にもできないままになっていました。メジャーリーグで大谷選手のそとごみを捨てるなどの振る舞いがニュースで取り上げられるのを見て、少し日が経ってしまったのですが、振り返ってみました。

講演の中で、

- 万事は掃除で始まり、掃除で終わる。
 - 掃除は自分を磨く。丁寧に掃除をすることで見えるようになる。
 - 「松井はバットを持たせても箒を持たせても一流」という監督の言葉。
 - ごみに気づかない、変化に気づかない人はチームの問題点に気づけない。
- など、部活動と「掃除」のことが取り上げられていました。振り返ってみると、確かにチームが強いときは、部員は言われなくても自主的に清掃をしていたし、コートや用具を大切にしていました。掃除に真面目に取り組め

るといのは、部活動に必要な資質かもしれません。

その「掃除」に関する事で、40年以上前のことですがとても印象に残っている出来事があります。そのことが私の部活動の考え方に大きな影響を及ぼしたことも事実です。

新規採用から同和教育推進主任になるまでの16年間ずっとバスケットボール部の顧問をしてきました。土居中学校は3校目だったのですが、どの学校でも、体育館が使用できるのは週に2~3回で、しかもコート半面、あとは屋外のコート。体育館でオールコートが使えるのは土日しかないことが多く、土日を休みにするなど考えられないことでした。練習内容も、体育館用、運動場用、オールコート用、ハーフコート用、雨天用とメニューを使用できる場所に依って作らざるを得ませんでした。そういうなかで、自校の体育館で練習試合を計画するのは他の部活動に場所を譲ってもらわなければならない調整は大変だったように思います。

ある日曜日に男子バスケット部が本校体育館を使って練習試合をする事になり、女子バスケット部は他校に練習試合に行くということになりました。前日の土曜日の午後（当時は土曜日は午前中授業がありました）、女子は次の日の練習試合に向けて練習していたのですが、男子は体育館使用時間になっても練習を始めず、女子にそのままコートを使っていいと言うのです。私はこれはラッキーと、たっぷり時間をかけて練習することができました。その間、男子バスケット部員は何をしていたかという、練習をせずに、全員ですっと更衣室とトイレの清掃をしていたのです。

当時の体育館のトイレは内外兼用で、外からは土足で使用するし、水洗でもないのでもとても汚れており、普段の掃除もあまり出来ない状態でした。そんな汚物がこびり付いた便器を男子部員が半日かけて黙々と磨

き上げていたのです。

部員の一人に、午後の貴重な練習時間を割いてまで、「何でトイレ掃除をしているのか」と尋ねると、明日の日曜日に他校を招いて練習試合をするので、「来てくれた人に気持ちよく使ってほしいからです」という答えが、笑顔と共に返ってきました。

当時の私には、トイレが汚いのは私の責任ではないし、勝つことを優先させ、次の日の試合のために練習することしか頭になかったと思います。来てくれる他校の選手に不快な思いをさせないよう思いをめぐらせ、自分たちに出来る最大の準備をすることを含めて練習試合なんだという発想はありませんでした。やらされているのではなく、イキイキと掃除している男子バスケット部員の姿から、部活動を通して部員にどんな力を育てることが大事なのかを教えられました。

土居隣保館長 村上 正哲

ベルマーク・ペットボトルのキャップ・使用済み切手の回収にご協力をお願いします

